

— 令和3年度 議会報告会 各地区テーマに対する回答について — 【 甘利 】地区

1. 令和3年度「議会報告会」地区テーマ

(1) テーマ： 県道613号甘利山公園線の進捗状況と早期完成について

■ 県道613号甘利山公園線の概要

県道613号甘利山公園線は、旭町甘利山公園を起点とし龍岡町若尾新田に至り、県立自然公園の甘利山公園へのアクセス道路であるとともに、国道20号と主要地方道韮崎南アルプス中央線とを連絡する生活道路でもあります。事業区間にあつては、幅員狭小箇所や視認距離を確保できない箇所が存在し、ドライバーは対向車とのすれ違いに危険を感じています。また歩道幅員も十分でなく、歩行者は常に車両の通行を意識せざるを得ず、車両及び歩行者の円滑な通行に支障が生じています。ドライバーの視認距離の確保、円滑な通行、歩行者の安全を図るため、早急に事業を推進し、危険な通行を改善する必要があります。

■ 事業区間

◇ 韮崎工業高校前 ～ 老人福祉センター前交差点

■ 事業の現在地

平成30年度に調査費用が県予算に計上され、計画線上の補償対象物件等について詳細な調査が実施され、補償費用の見積もり並びに計画線確定のための細かな修正が加えられるなどされたのち、令和元年9月、令和2年1月の2回に分けて、若尾新田公民館において、地元地権者及び関係者向けの説明会が実施されました。

令和2年度においては、地元説明会を踏まえた、補償ならびに用地交渉に向けた手続きが進められ、令和3年度(本年度)においては、補償事業及び用地交渉が本格化しており、一部においては手続きが終了しております。

■ 今後の予定

◇ 令和3年度～補償事業・用地交渉を継続し、見通しが立ったところから工事着手予定。

◇ 令和4年度～補償事業・用地交渉を継続しつつ、改良工事を本格化していく予定。

長年にわたる地元要望が早期に実現されるよう、地元区のご協力をいただきながら、韮崎市を窓口として、県へ要望してまいります。



事業区間



現在



現在

(2) テーマ： 通学路の安全対策について

テーマ：通学路の安全対策について

(1) 県道 607 号北原下条南割線の歩道の設置について（進捗状況）

- ① 現在の用地（必要な土地）取得状況は、31 人中 15 人（R3.7.1 時点）。※昨年は 31 人中 12 人。
- ② 予算ベースでの進捗率は約 7 割であり、すなわち用地面積の約 7 割を取得済み。

●今後の取り組み

今後の用地取得の状況により工事着工に向けた計画が進むことになります。引き続き、地権者のご理解と地元区のご協力をよろしくお願いします。

また、昨年要望がございました、地元への状況報告につきましては、県への働きかけを行った結果、今年度中に地区長へ説明と報告を行いたいとの回答を得られております。

(2) 市道旭 76 号線の拡幅について

大草町下條西割地区と大草町上條東割地区の中央を通り南宮神社西側で県道 607 号北原下條南割線に接続する、市道旭 76 号線（約 160m）ですが幅員が 4,5m と非常に狭く特に、通学時間の朝・夕は車が多いので、児童の通学路として大変危険であるため、大草町から道路の拡幅について要望がありました。

●今後の取り組み

- ① 現地は、JA 梨北大草出荷所と永岳寺の敷地が道路の南側にあり、道路の北側は 8 軒ほどの住居が道路に面しているため住居を移動し拡幅するのは難しいので、南側の大草出荷所及び永岳寺の敷地で可能な限り対応できるよう検討していく。
- ② 農道への迂回については、以下の理由から現時点では難しいと考える。
 - 1・通学距離が延びる。
 - 2・割羽沢川のガードレールが 30m 程しかなく、大雨の際には増水するため危険。※ハード面の安全対策を進めることが可能かどうかの調査・検討が必要。
- ③ 児童への交通安全指導について徹底をしていただけるよう学校へ働きかける。



(3) 北原若尾交差点の安全対策（進捗状況）

- ① 地元からは、詳細な交通量調査の報告書と共に信号機設置の要望書が毎年提出されている。
- ② 地元地区役員をはじめ関係者が R3 年 5 月 10 日に現地視察を実施した。
- ③ 県警交通規制課と県道路管理担当者が協議を行い、当地の安全対策を進めることを決定した。
- ④ R3 年 6 月中旬に「速度落せ」の路面標示や減速マーク、「交差点注意」の看板の設置が行われた。



●今後の取り組み

信号機設置に向けて、類似事例の提示を盛り込むなど実現に向けた「要望書」の提出を早期に行う。



(4) 羽根坂の安全対策について

葦崎市通学路交通安全プログラム上の羽根坂の課題と要望	今後の取り組み及び対応策
① 日当たり悪く天候の影響を受けやすい。	 ◎樹木等の伐採が効果的と考える。建設課→地権者の同意や地元の協力を得て通常の維持管理としての実施は可能であるとの回答。※平成 25 年度、市・自治会で除草、伐採。 ◎スクールガードボランティアさんや、地域住民の見守りによる下校時のパトロールの強化と継続。 ◎ガードレールの設置については「会議で決まった安全点検実施個所の対象となれば、道路管理者として現地確認の上で検討し対応することは可能です。」とのこと。
② 冬場は暗く、不審者が心配。	
③ サルの群れの出現にともなう危険。	
④ 片側が崖。歩道なくガードレールも一部のみ設置。	

●今後の取り組み

今後は、課題解決に向けて、学校と地域との情報共有や安全対策について話し合う機会も必要であると考えられる。